



催眠アプリで

憧れの先輩を

メス堕ちさせる話

フルカラー54P

あれは…
僕が初めて先輩と
出会った日のこと

や…
やめて
ください…!!

ははは

こいつの全裸の
写真学校中に
ばら撒いてやる
うぜ!

お前
ムカつくん
だよ!

や…やだ…

暴れんなよ
大人しくしろ

あう…

おい



…あ？

だせえこと
してんなよ



いてっ

アッ



コイツの家
超金持ち
らしいぞ！

マジ!?
目付けられ
たらやべー
じゃん



うわっ…
月城…



逃げるろ…
逃げるろ…

あ…

アッ
アッ



ありがとうございます
ございます……!

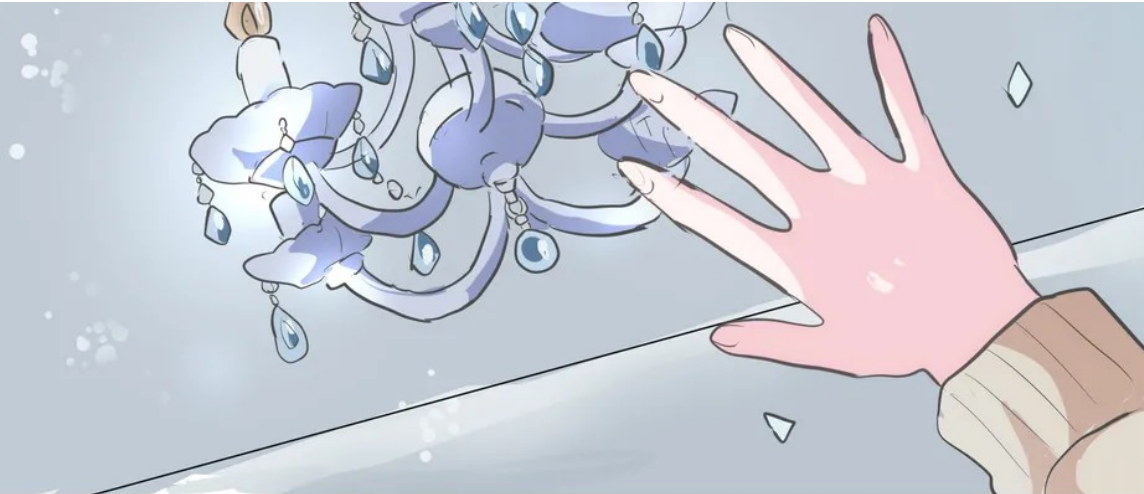


別に……

颯爽と現れて
助けてくれた
先輩は本当に
格好良くて

桜の花が
似合う美しい
人だと思った





あれから僕は
先輩に恋を
してしまった
んだと思う



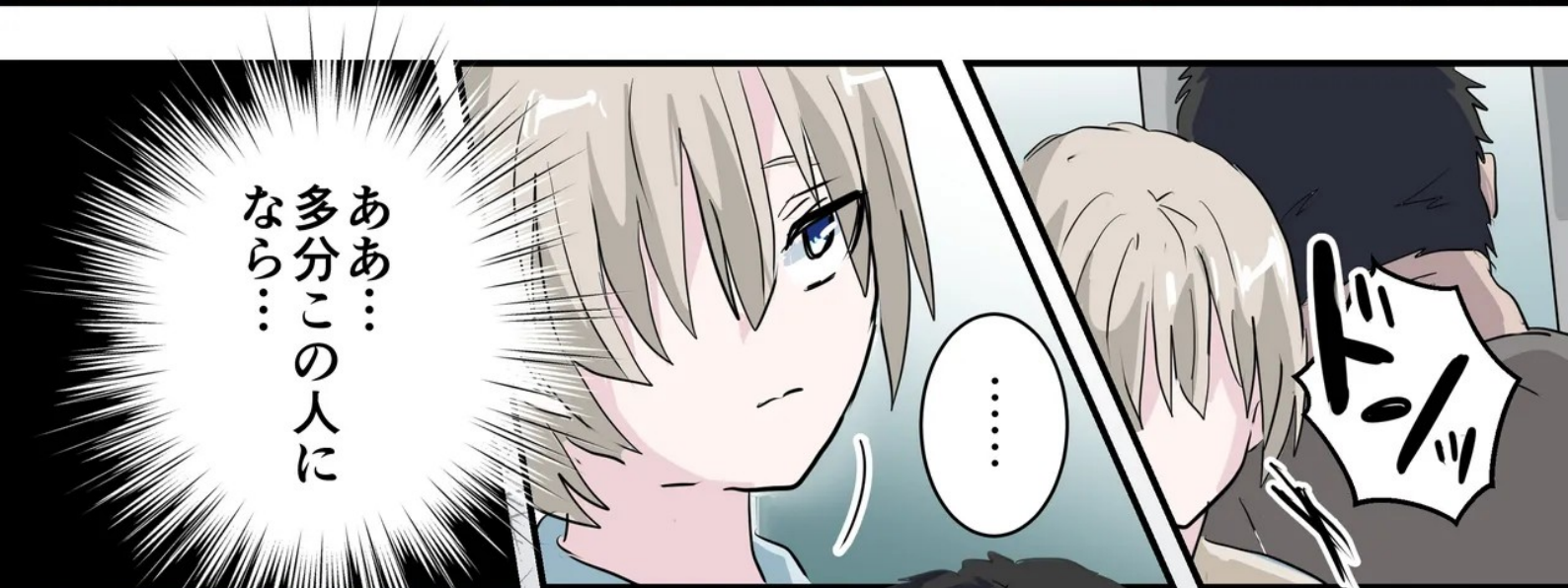
先輩も僕と
同じ目に遭って
もらえばいいんだ！

そうだ…

どうしたら先輩も
僕を好きになって
くれるだろう…

僕と同じように
先輩にも僕を好きに
なってもらうには…

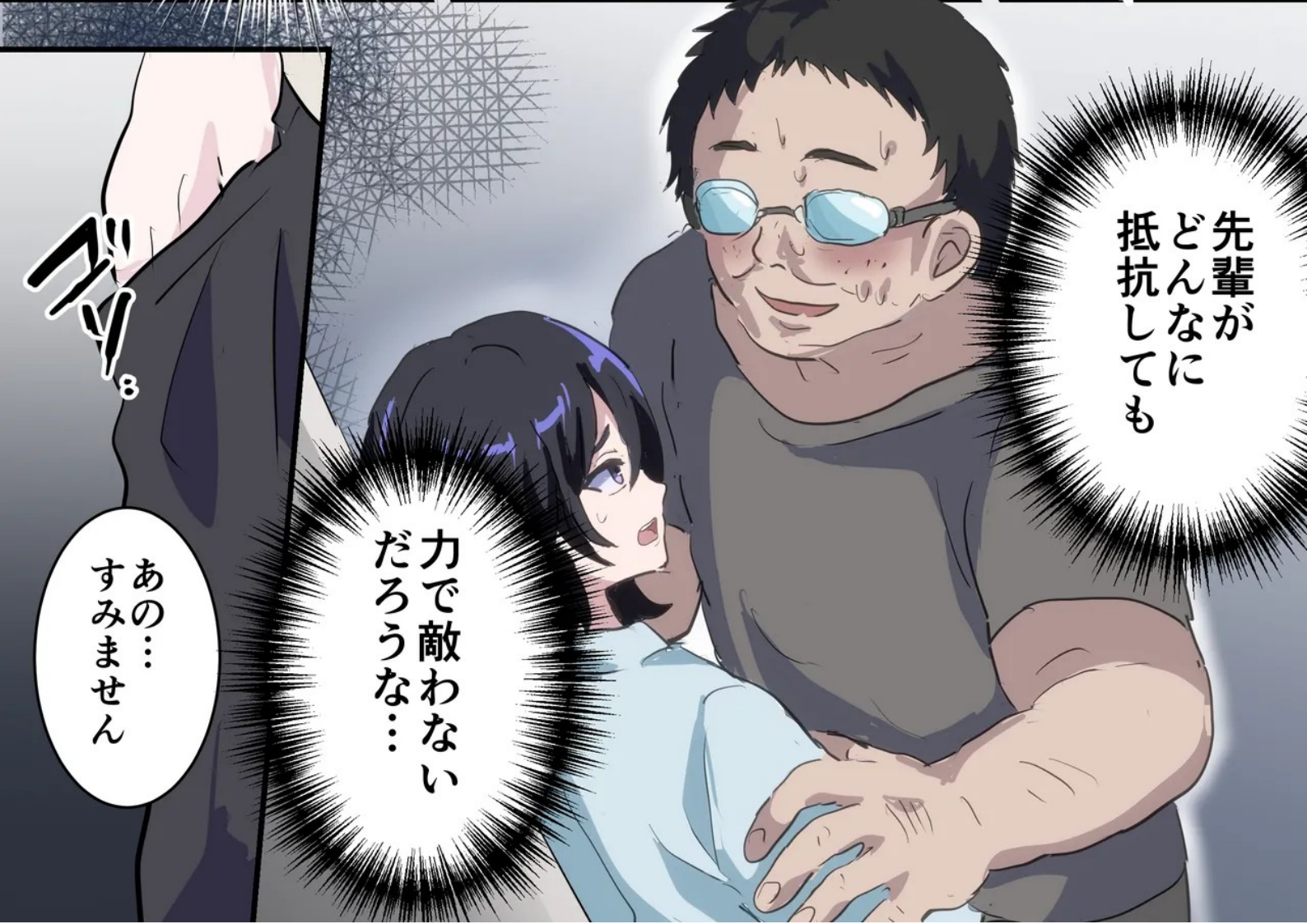
シヤ…



ああ…
多分この人に
なら…

……

トッ



先輩が
どんなに
抵抗しても

力で敵わない
だろうな…

あの…
すみません



ちよつと
この画面

キ
イ

見てくれ
ませんか？



イ
イ
？

先輩……

待って
てね……

あれから
数ヶ月

僕は先輩のことを
ずっと調べていた

家の場所
帰り道の経路…
行動パターンも…

これで準備は
完璧だ



先輩…
あなたの
心も身体も…

僕が絶対に
手に入れる…

SAIMIN

スッ

ふふっ

はあっ…
はあっ…

何なんだよ
あんた…!

クッ

クッ

クッ

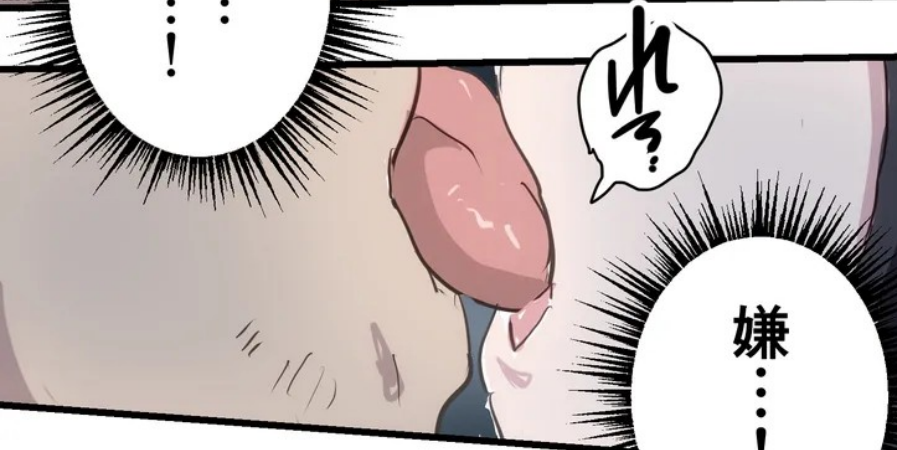


〜…
〜
〜

や…いやだ…
来るな…



やだ…
嫌だ…!



れろ?

嫌…!



クッ…



かわいいねえ
君…



嫌っ…

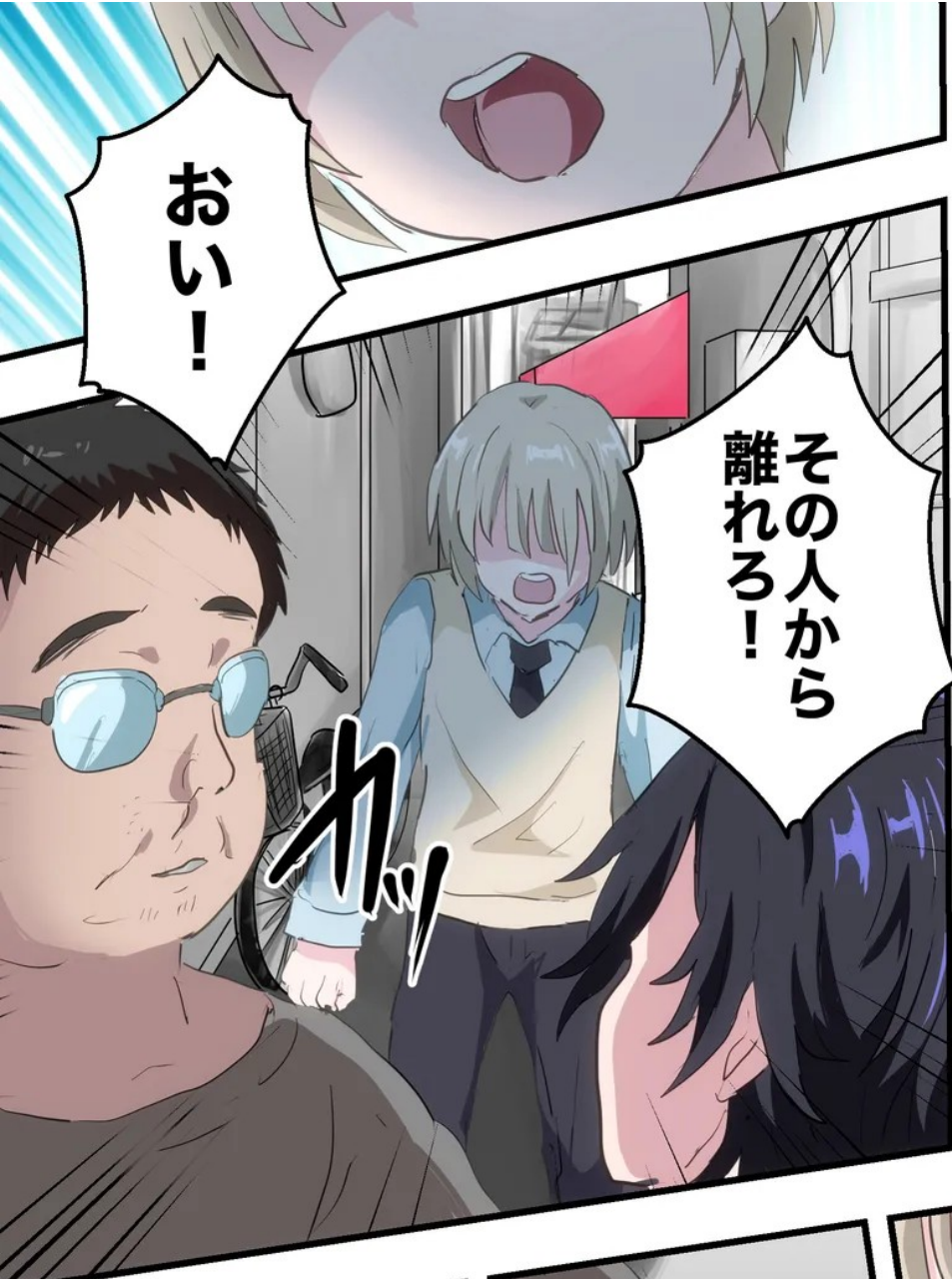


怖いだ…
嫌だ…



嫌だ…!

気持ち悪い…!



アッ
僕が助けに
来なかったら

大変な
ところ
でしたね

クゥゥ

モヤッ

…あ…ああ
ありがとう

助けて
くれて…

それから
というもの…



俺は何回も
同じような目に
遭うことが続いて



その度に
アイツが
助けにきた



何かがおかしいことは
分かっていた

ねえねえ先輩
この前の僕
カッコよかった？

アキラ

アキラ

……



……

ふふふっ

ぼくのこと
好きになった？

アキラ

ヒーロー
みたいだった
でしょ？

アキラ



ギョ

え……？



お前……
俺に何か
恨みでも
あるのか？

……

お前…わざと
男に俺のこと
襲わせてるん
だろ？

最初から何か
おかしいと
思ってたんだ…

俺が何かした
なら謝るから…

恨んでるわけ
でないじゃない
ですか！

もう
こんなと…

何で
そんなこと
言うんですか

僕は先輩のこと
助けたかった
だけなのに…



無理やり
好きになっ
てもらっし
ないか

もういや…
こうなったら…

ズッ







先輩!
大丈夫!
ですか!?

う...

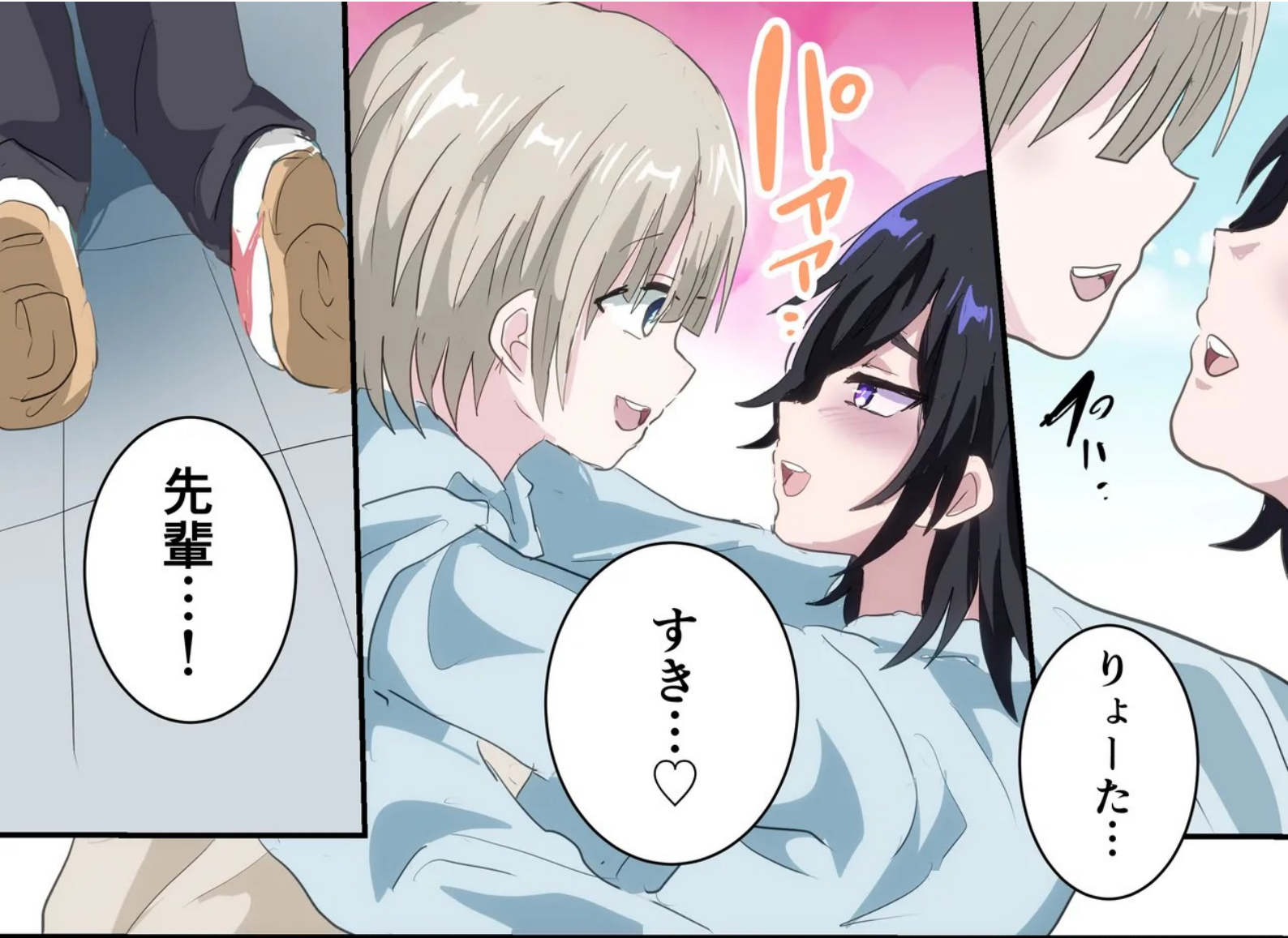
ど...どうしよう...
先輩...!

せん...

ちゅ

ぶ

ちゅ



先輩...!

すき...♡

りよーた...

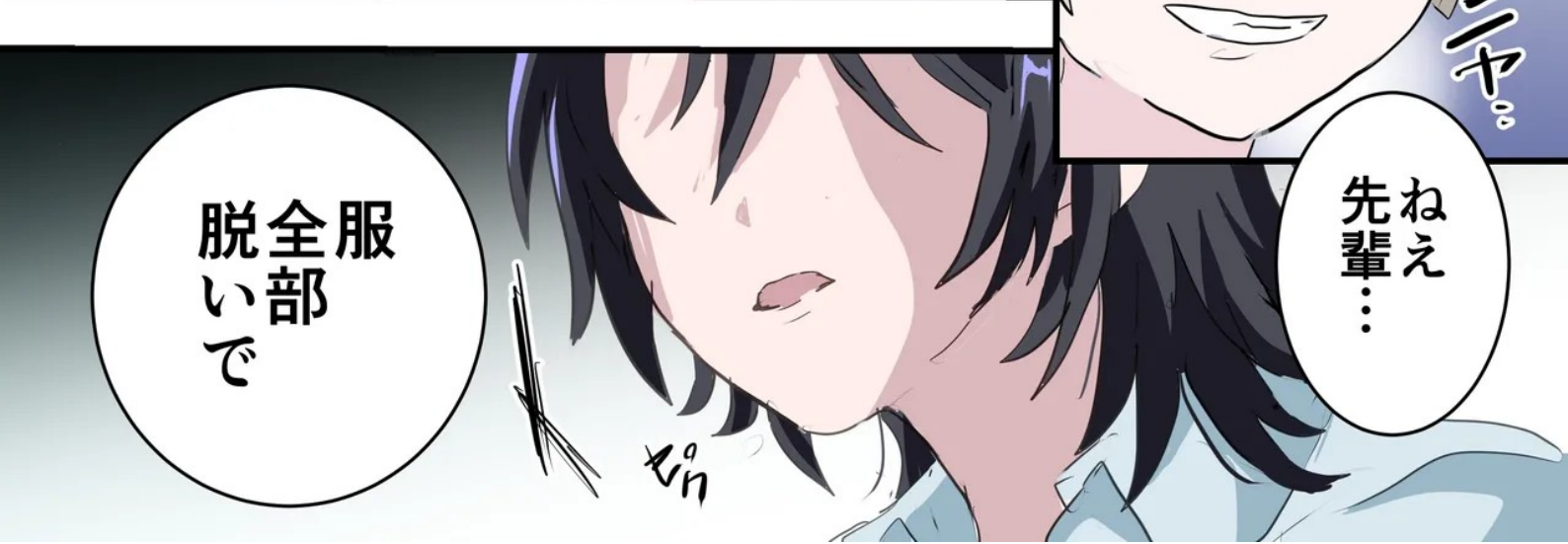
ハァァァ

のい...



これで先輩は
僕のものだ...!

よかった
催眠効いてた
んだ...



脱全部

ねえ
先輩...

ニヤ...

ん



先輩の裸…!

ドキ

早く抱けよ…

ほら…
脱いだぞ…

ドキ

あれ…
俺…

何やって
るんだ…?





ビクッ

ああ……っ

ビクッ

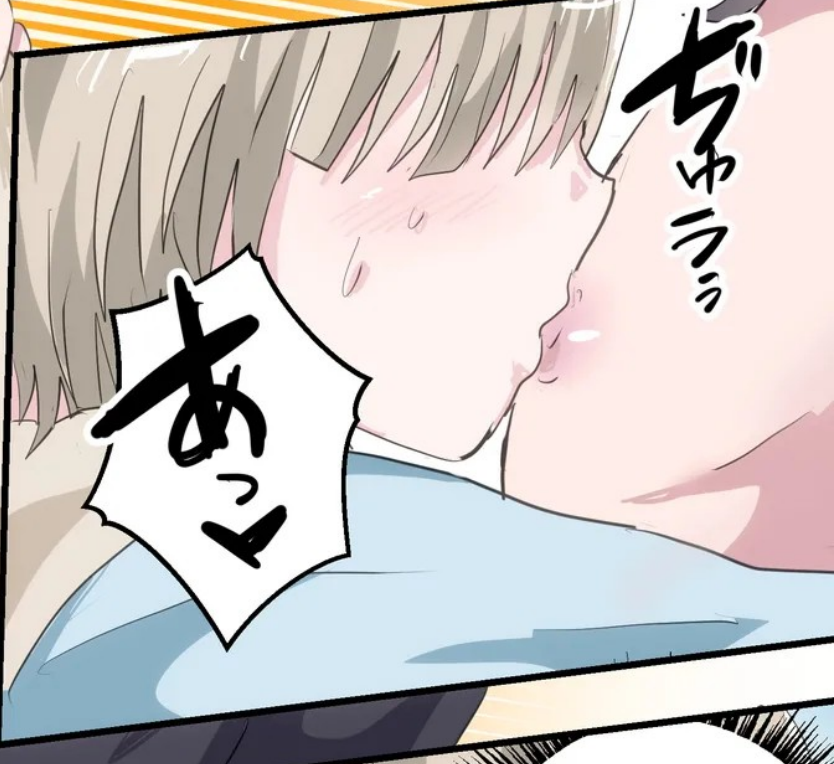
ちゅっ

何だコイツ
急に……勢いが……



先輩っ！

カッ
バッ



ぢゅっ

あっ



ぺろ

ぺろ

はあ……
先輩……やっと
触れる……！

大好きな先輩……
僕の好きに
できるんだ……！

あ

ちゅぽっ

先輩…次は僕
のしゃぶって？

カチャ…

カチャ

ドキッ

!

ズン

そんなの嫌だ…

なのに…
身体が勝手に…

ドキッ

ドキッ

ドキッ

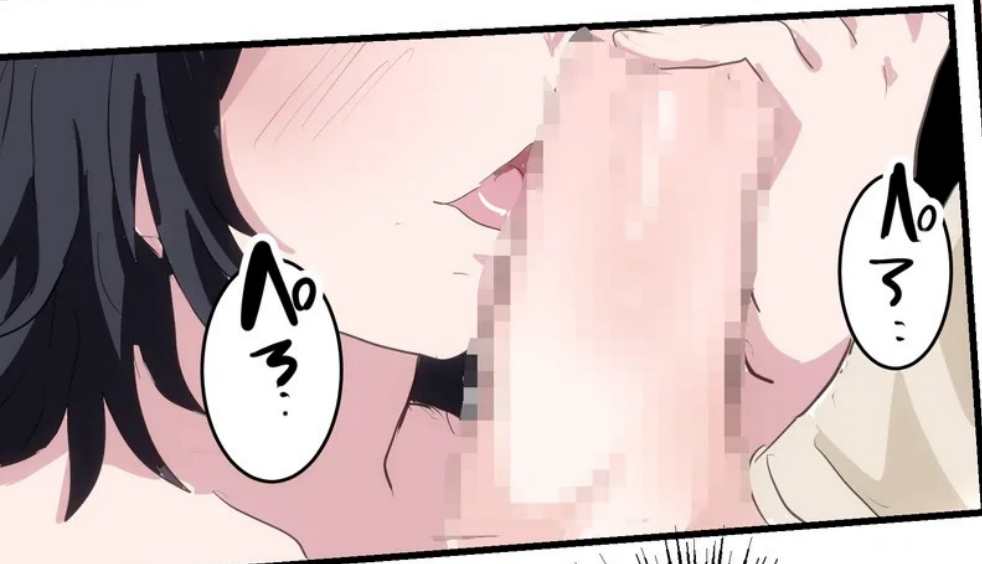
ドキッ



先輩……！



ちゅっ



ハッ

ハッ



先輩が……
憧れの冬夜
先輩が……！

もう我慢
できない！

先輩が
僕のちんこ
触ってる……！

んっ……！





グイッ

ドキッ

もう我慢
できない…

挿れ
たい…

あっ…



ドキッ
2



グイッ

あつでも先輩
処女だから…



何かで
ほぐさない
とな…

…あれで
いいか…

ドキッ♡

ドキッ♡

先輩の
食べかけ…

フッ

フッ

フッ

こいつ
頭おかし
い
だろ…!!

あつ
つめた…!?

ねえ…

お尻叩いて
いい…?!

そ…
それ…

フ…





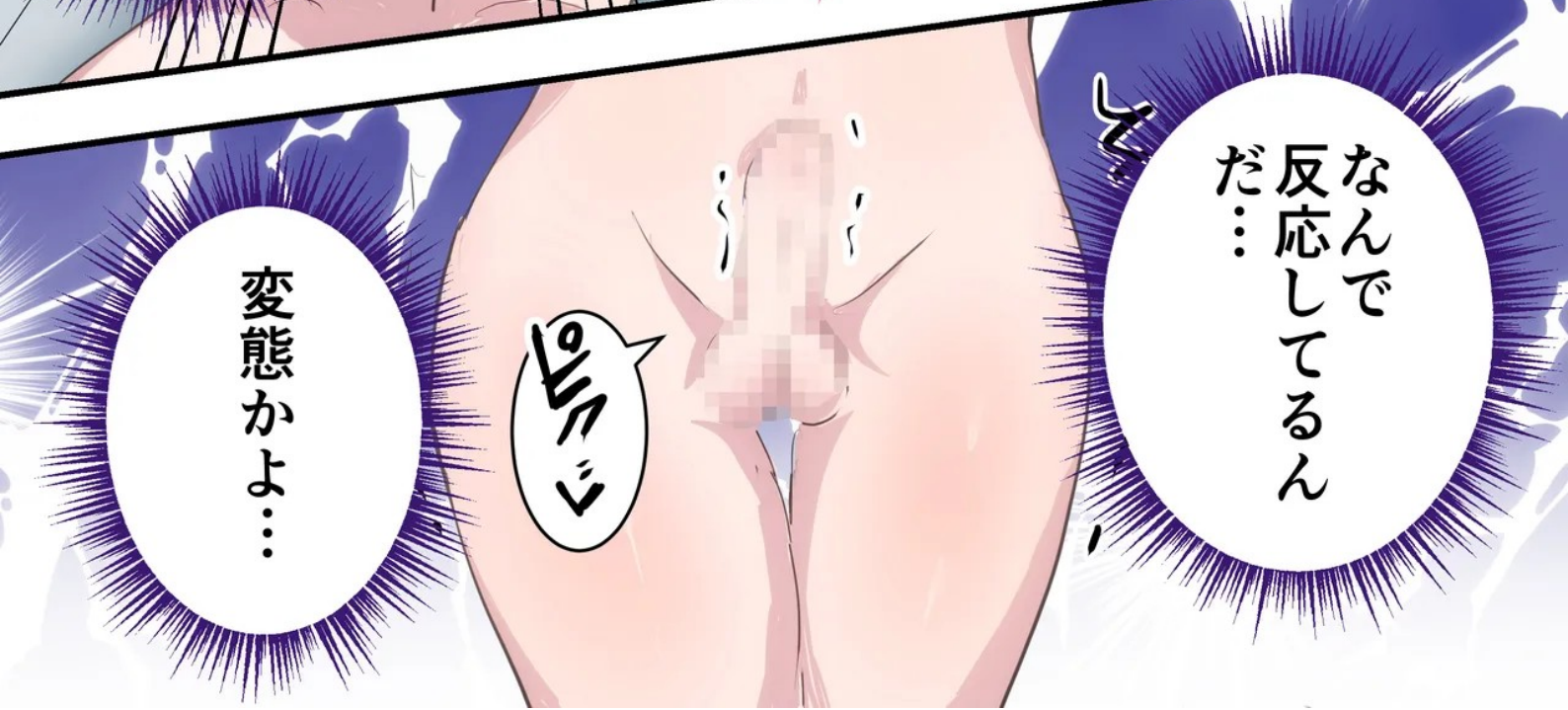
ムンッ

あー

何で俺
こんなこと
されてるんだ…

恥ずかしい…
嫌なの…!!

んあっ!



変態かよ…

ゴクッ

なんで
反応してるん
だ…

あ……

しん

ん

しん

しん

しん



しん

さつきより
デカイ……

しん

しん

しん

はあ……

じゃあもう
挿れちゃお
っかな……



しん

しん

しん



そんなの
入るわけ…

なっ…



嘘だろ…!!

先輩の中…
気持ちいい…!



あ…
うあ…

はあ…

はあ…

先輩の
お尻…

最高
ですよ…!

勝手なこと
言って…!

人を
おもちゃ
みたい…!

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

グ
グ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ



俺…
イツた…？

こんな
めちやくちや
にされて…

せほ…

はあ…

なんだ
今の…

ガッ
ッ

あつ





出るっ……!

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

中に……
出されてる……

グッ



はは…

やりすぎ
ちやっただかな…



ニギキ

ニギキ



ニギキ

ニギキ



ニギキ



ニギキ



でも…
これで先輩は
僕だけのもの
だね



…あれ

キッロッ
フ

アイツは…

トロキ



うっ…

クソ…

ム
ン



…

先輩を犯した
その日から

僕はもう
我慢しなく
なった

じゃあ
このまま
おさんぽしよっか

ぐるっと
一周しよっか

逃げたいのに
勝手に身体が
従って…

わんっ

あ…っ

どうしよう…
身体が…
冷えて…

フワッ
フワッ

トイレ…
したくなって
きた…

あ…っ

ブルッ



もい

もい

あ…もしかして
おしっこしたく
なっちゃった？



フイッ

ふふ…
いいよ



おやん

あれ
先輩
どうしたの？

くうん…

もい

もい



フイッ

じゃあ
先輩

ここで
おしっこ
して？



!?



あーっ

あーっ

ノッ / シャ

自分が壊れる...!

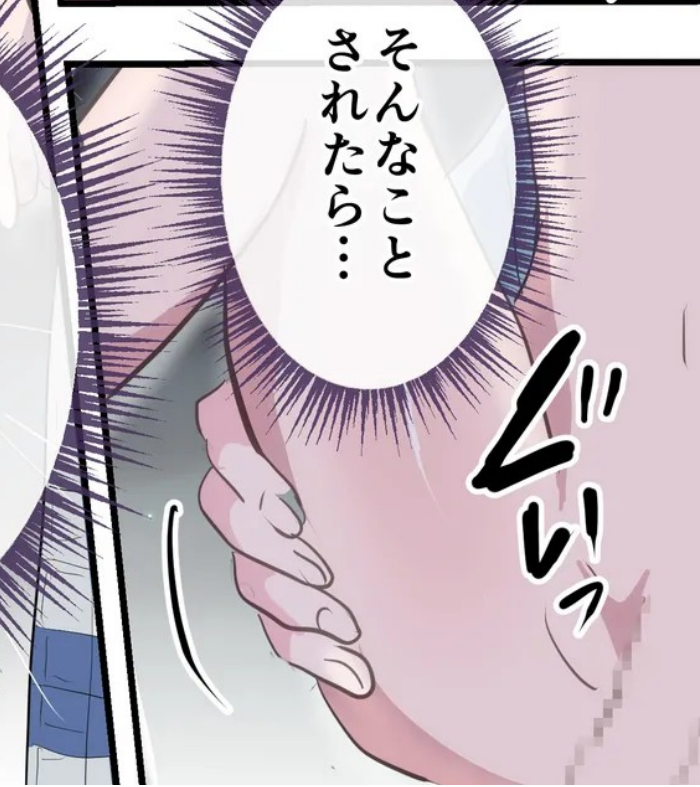


ほら

手伝って
あげるから



やだ...
やだ...!
絶対嫌...!



そんなこと
されたら...

あつ...

しゅっ
ん

上手に
できて
えらいね

あ...

んやろ...



いい子には
ご褒美
あげないと



はあ...

はあ...

もっともっと
気持ちよく
なろうね...



はあ...



あ...

はあ...

今日は観客を
用意したんだ

先輩のえっちな
ところ見てもらおう
と思っ

っ…

後で僕が
記憶消す
から

安心して
楽しんでね

ほっ

恥ずかしい
ところ

いっぱい
見てもらい
ましようね

っ…

ドキ

ドキ

ぐい



うわ…
すげえ…ヒクヒク
してる…

普段
涼しい顔して
本当はこんな
エロかったのかよ…

嫌だ…
恥ずかしい…



見ないで…
見ないで…
ほしいのに…

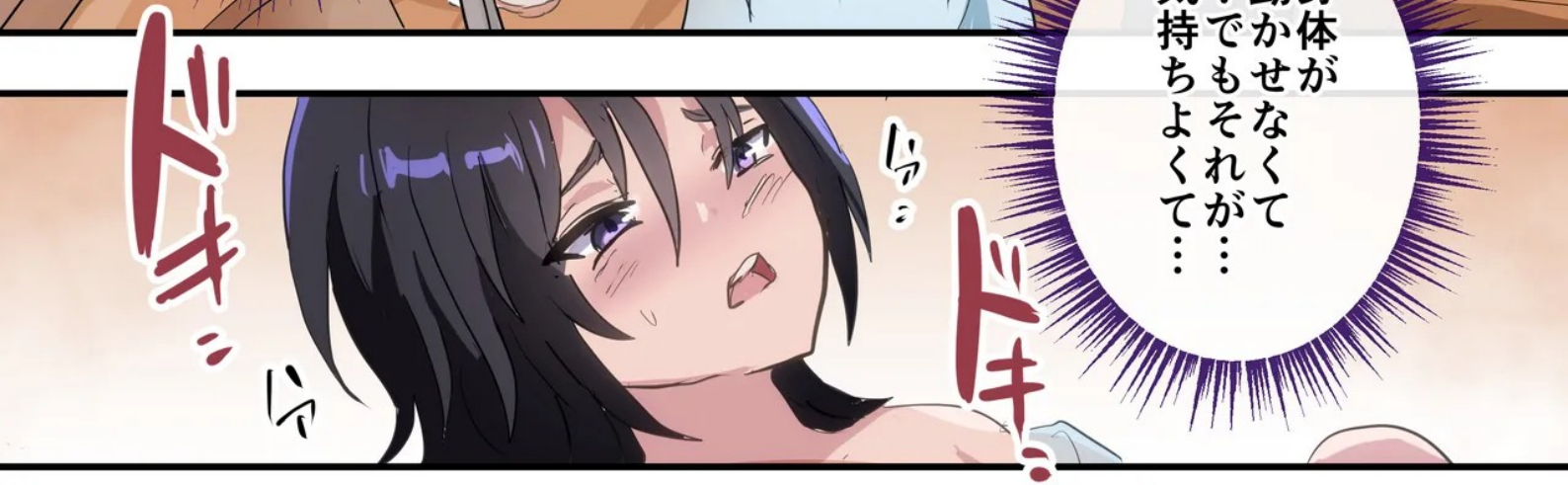
抵抗
できない…



教室でこんな
ところ同級生に
見られるなんて…

恥ずかしくて
今すぐ逃げ出し
たいのに…!!

身体が
動かさなくて
…でもそれが…
気持ちよくて…



ドキ

ん

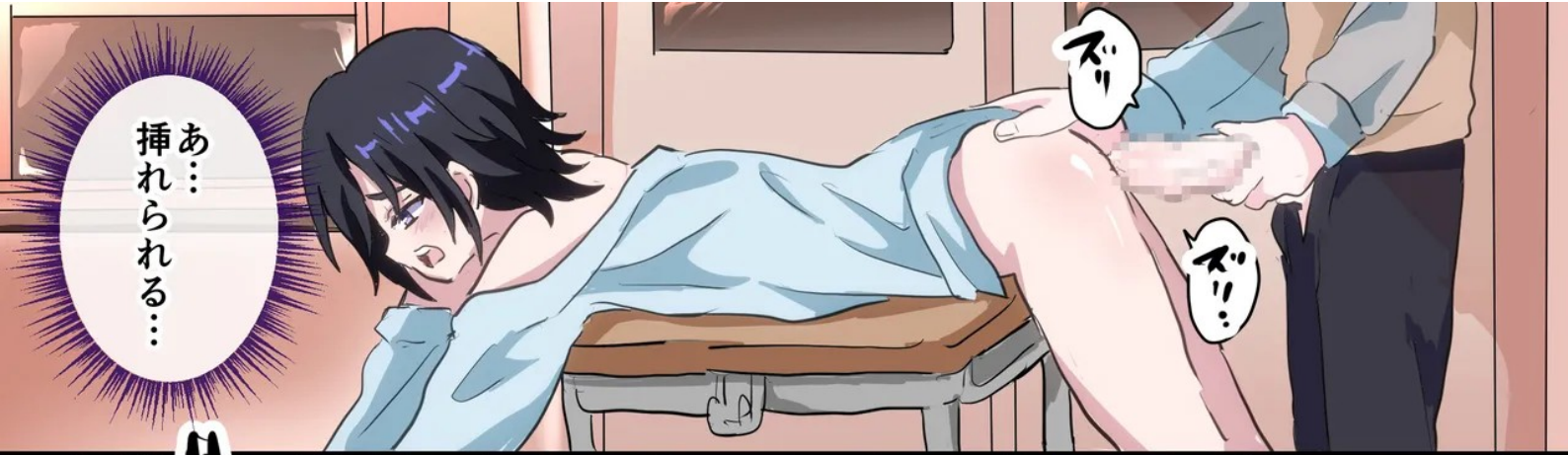
ん

ドキ



さあ…先輩
もっと気持ちよ
くになりましたね

ん



あ…
挿れられる…



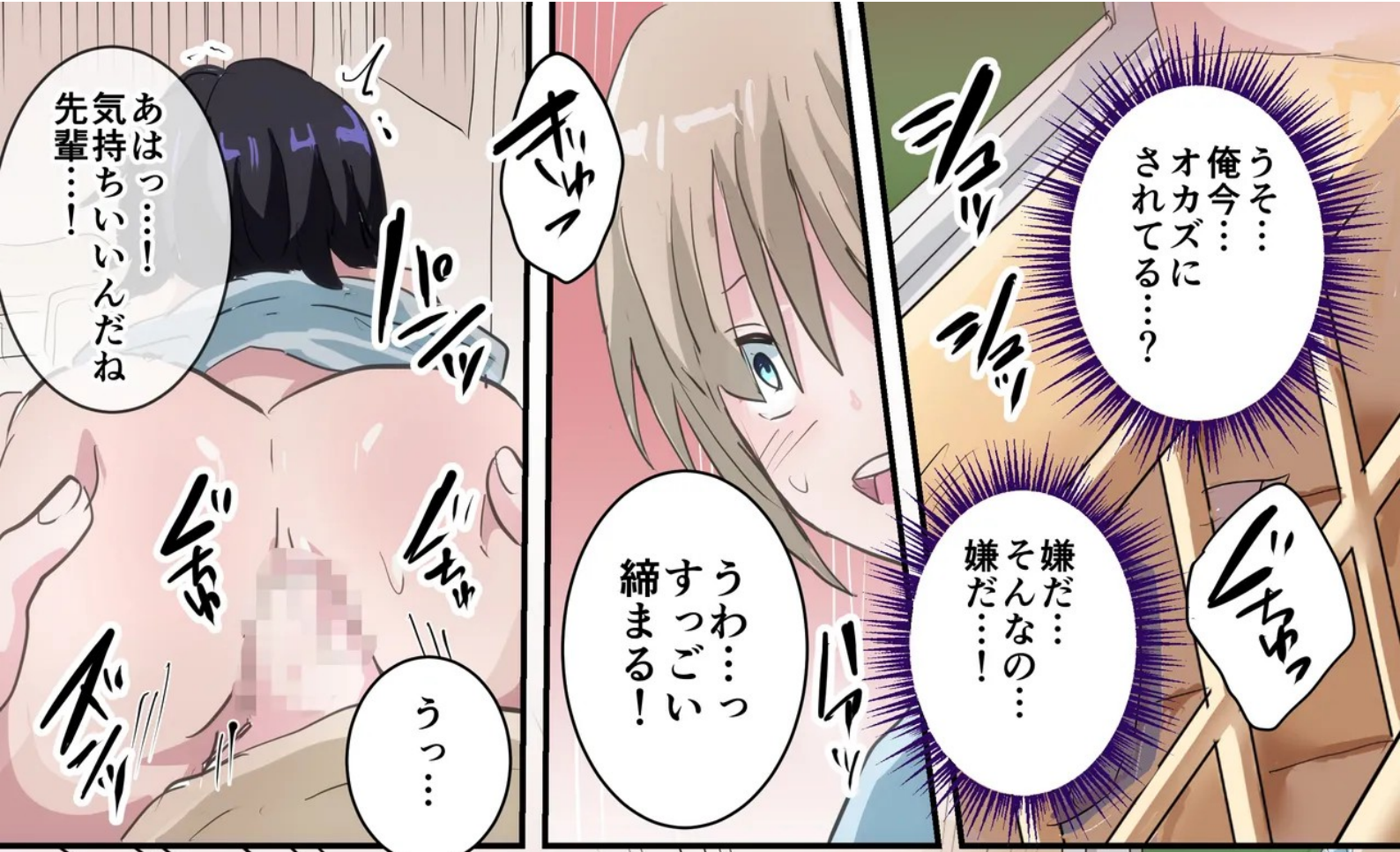
人に

見られ
てるのに…!!



うわ…
すっげ…

えっろ…



あはっ…!!
気持ちいいんだね
先輩…!!

ギョッ

うそ…
俺今…
オカズに
されてる…?

ギョッ

ギョッ

嫌だ…
そんなの…
嫌だ…!!

うわ…っ
すっごい
締まる!

うっ…



出すよっ!!

クッ

クッ

クッ

クッ

出る!

クッ!!

最近アイツに
操られてない
時でも…

あんなの
おかしな
頭ではわ
かかって
る

ずっと身体が
熱くて仕方
がない

もっ
もっ
と

激しく

乱暴に犯して
ほしくて…



ああ：
もう俺は

元には
戻れない

ははっ
ははっ



あ…

ガッ

先輩

ふふ…また
遊んでほし
いですか？

いい…
もう…

グッ

それ
使わなくて

そんなもの
使わなくても

もう俺は
お前のこと
好きだから

お前のせいで
俺は変わった

だから

一生…
責任取れよ



ズッ

今まで散々俺の身体好き勝手いじくったんだ

ドサッ

さあ…

あつ先輩…
ちよつと待つ…

今日は俺の好きにさせてもらうからな

せ…
せんぱ…



ドキ

ちゃんとなれよ…

お前のちんぽ無しじゃ生きていけなくなつた責任…

ズッ

ドキ



俺：お前に
ハメラれ
すぎたせいで

ここ...
いじんないと
イケなくなつた
んだ...



...っ先輩
エッチすぎ！
もう僕我慢
できないよ...！





今日は
だめ…

俺が…全部
するから…

えっ…

お前は…
下で鳴いてれば
いいんだよ…っ!

ギキッ

うあッ!

せほ…

ミキッ

はあッ



うわあ…
積極的な先輩
えっち
すぎる…!

はあッ

ムクッ

ムクッ



ああ…
もう…っ

デカく
すんな…

腹突き破る
気か…

あつ…
やば…

ドキ



もう
いきそ…

さあ…



ドキ

……っ



ごめん
先輩!

もう我慢
できない!

グ

バキ

ッ!

ギィンッ

あんな
工口い姿
見せられて
動くななんて
無理だよ!

足腰立たなく
なるまでぶち
犯してやる!

僕の形になる
までハメまくって
あげるから!

あー!

ハメッ

まっ!

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

まっ!

先輩がこんな
えつちになつちやつた
責任は…一生取るから
安心してよ…っ!

ハメッ

あー!

クッ

まっ!

ハメッ

もう何があっても
絶対逃さない
から…っ! ねえ!

ハメッ

ハメッ

まっ!

ああ…っ
先輩のナカすごっ
また出るっ…!

ハメッ

はあ…

はあ…



腰いた...

はあ

ボソッ...
...んぱあい...

っ...たく

じゅん...

無茶苦茶
しやがって...

んん...

せんぱい...

だいすき...

ん...



今思えばこいつの
狂気的な行動も
狂った愛情も

伝え方がただの
不器用なだけの
純愛だったん
だろう

お前みたいなの
受け入れてやれるの
なんて俺だけ
だからな…

だから
一生…

俺に執着
しとけ